

G1—26—

# 基礎能力

## 試験問題

### 注意事項

1. 問題は 40 題(39 ページ)で、解答時間は正味 2 時間 20 分です。
2. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
3. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
----------	-------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを 希望しない

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

「他者」。それは原理的に私たちの統制や支配が及ばず、私たちの理解や共感を絶しているものことである。「他者」は名づけえず、分類しえず、私たちの知的射程の限界として、私たちの眼前に圧倒的な具体性を伴って立ち現れる。

他者に対して、私たちは「中立的」あるいは「学術的」なまなざしを向けることができない。というのも、「中立的」であったり「学術的」であったりするためには、「私」と他者を同時に包摂する「パラダイム」の存在が前提になるからだ。そのような包括的な視座を想定してはじめて「中立性」という考え方は成立するのだが、他者の「他者」を構成するのは、「他者は『私』と同じパラダイムには属さない」という事実なのである。「私」と他者のあいだには「共通分母」がない。

さて、「中立的」でないということは、言い換えれば、はじめから「私」は他者に対して「党派的」だということである。「私」が他者に向ける視線は、そのつどすでに「私」の分泌する情動性を帯びており、そのつどすでに「私」の予断によって歪められている。いわば、私たちは「接続法」のモードで他者を記述するのであり、他者は「直説法」では記述できないということである。

「接続法」におかれた動詞がそうであるように、他者は私たちのうちに相反する二つの情動性を同時に呼び起こす。

私たちを恐怖させ、突き放す斥力の情動と、私たちを魅惑し、惹きつける引力の情動である。他者は恐怖させ同時に誘惑する。他者は嫌悪の対象であり同時に渴仰<sup>かつごう</sup>の対象である。

1. 私たちの知的射程を超えるような、統制や支配が及ばない他者であっても、包括的な視座を想定すれば、理解をすることができる。
2. 他者に対して「中立的」あるいは「学術的」なまなざしを向けることができないのは、「私」と他者のあいだに「共通分母」が存在しないからである。
3. 他者に対してはじめから「党派的」に接する態度により、相反する二つの情動性が同時に呼び起こされるため、他者は圧倒的な具体性を伴った存在となる。
4. 「私」と他者のあいだに同じ「パラダイム」が存在すれば、「接続法」のモードでも他者を「中立的」に記述できる。
5. 他者を「直説法」で記述することにより、他者に対する恐怖と誘惑、嫌悪と渴仰という相反する二つの情動が呼び起こされる。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

一般に方法が議論の対象となる時、「どんな方法が用いられているか」が問われることはあっても、「方法とは何か」が問われることはほとんどない。なぜか。答えは簡単である。われわれが方法という語に慣れ親しんでしまっているからだ。われわれは方法という語を用いるとき、なんらかの共通了解のうえに立ってしまっているのに、この語があまりに身近であるため、それを意識することがない。そして「どんな方法が用いられているか」というこのありふれた問いこそは、方法をめぐるこの共通了解をわかりやすく表現したものであるだろう。それによれば方法とは用いるものである。だから、内容の研究と史的研究が終わった後で行われるべきは方法の研究であると断言できるのである。あたかも、あらゆる哲学者は歴史的影響を背景としながらおのれの思想内容を、あらかじめ用意された一定の方法を用いて取り扱っていると考えるのが当然であるかのごとくに。「どんな方法が用いられているか」という問いを発した時点で、われわれはすでに方法に関するひとつのイメージを受け入れてしまっている。このような「通俗的理性のひそかな判断」(カント)こそが問い直されなければならない。

1. われわれは、「どんな方法が用いられているか」という問いを発した時点で、方法についてなんらかの共通了解のうえに立ってしまい、「方法とは何か」を問うことはほとんどない。
2. 一般に方法が議論の対象となる時、「方法とは何か」という問いは、「どんな方法が用いられているか」という問いに常に優先する。
3. 「方法とは何か」という問いは、われわれが方法に関してひとつのイメージを共通了解として受け入れてしまっていることをわかりやすく表現したものである。
4. 「どんな方法が用いられているか」というありふれた問いは、われわれが方法について完全に一致した共通了解を有し、それを意識していることを示すものである。
5. われわれが「どんな方法が用いられているか」を意識して研究を行うためには、「通俗的理性のひそかな判断」を問い直す必要がある。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

近年、政治が「決められない」ことが問題になっています。あるいは、決めたとしてもうまく効果が出ないことが問題とされている。その要因はいろいろありますが、最大のものがグローバル化した市場にあると言っていいでしょう。経済のグローバル化が進む中で、主権国家の有効性が相対化されているのです。なぜなら、経済については国際的な取り決めが多く、一国で勝手に決められる範囲がほとんどないのです。また、一国内で何らかの制度をつくって市場を規制しようとしても、その効果は限られています。カネやモノの流れをとどめることはできません。それぞれの国が主権によって通貨をつくっているわけですが、通貨の価値はグローバル市場で決まり、各国の中央銀行が左右することはほとんどできません。

そもそも市場は国境に制限されるものではなく、交換は地表全体に広がりうるものです。産業化が始まったときからすでに潜在的には経済はグローバル化していましたが、誰の目にも明らかになったのは冷戦終結後です。近代においては国民国家ごとの経済単位、つまり国民経済が想定されていましたが、もはやその中で経済が完結することはなくなりました。国境を越えた交換活動のほう为主要になってしまったのです。そのため、ある国の主権的な決定が大きな意味をもたなくなりました。

主権国家の権力は、かなりの程度、陳腐化しています。これはいいとか悪いとかいうことではなく、現にそうなっているということであり、まずはそのことを意識すべきだと思います。しかし、それを受け止めきれず、権力はあくまでも主権的な中心から放出されるものである、あるいはそうであるべきだという考え方は非常に根強い。権力といえば国家権力であり、経済より何より法が優先するという考えにしがみついているために、主権国家が相対化されつつある現状が正しくとらえられていません。

もし、あらゆる問題を国境線の中に閉じ込めて、主権的な権力で左右できるようになれば、物事がすっきりするでしょう。実際、そのことへの欲望は非常に強まっていますが、それは所詮、無理な願望なのです。経済が国境線を越えてしまう以上、経済ナショナリズム、つまり国民という群れの中に市場を閉じ込めようとすることも現実的ではありません。

1. 近年、政治が「決められない」ことの要因の一つは、国家権力は他の何よりも優先されるべきだという考え方が根強く残っていることである。
2. 国の主権的な決定が大きな意味をもたなくなったため、通貨の価値はグローバル市場で決まるようになり、各国の中央銀行により左右できる余地が広がった。
3. 市場は国境に制限されるものではなく、経済が国境線を越えてしまう以上、一国内で何らかの制度をつくって市場を規制しようとしてもその効果は限られている。
4. 経済についての国際的な取り決め全てを把握することで初めて、主権国家が相対化されつつある現状を正しくとらえることができる。
5. あらゆる問題を国境線の中に閉じ込めて、主権的な権力で左右できるようになれば、経済のグローバル化を止めることができるが、これは現実的ではない。

【No. 4】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

小集団の価値観やルールは、それを批判するメタレベルの価値規準が存在しない現在の状況では、集団メンバーの合意やリーダー格の人間の判断によって、容易にルール変更が生じやすい。そのため、絶えずリーダー格の人間や他のメンバーの言動に留意し、それなりに調子を合わせる必要性が生じてくる。このような状況下では、もはや集団内で共有されていたもとの価値への信憑は薄れ、承認を維持することだけが目的化されやすい。集団の価値観を直接信じるというより、みんなが信じるからそれを信じるのであり、その集団の価値を本当は信じていなくとも、あえて「信じるふり」をし、承認を得ようとするのだ。

したがって、リーダーや幹部がその価値観を修正すれば、容易に従来の価値観を捨て、それについていくことになりやすい。結局、集団内の承認のほうが、共有されている価値観よりも重要なのである。

信じるふりをするだけの価値観さえ共有されていない集団や人間関係においては、承認の不安はさらに深刻になる。学校の仲間集団などは、特定の価値観を共有していないことが多いため、より直接的に承認を求め合うゲームとなりやすい。友だちと共有している感覚や趣味から逸脱した言動はしない、その趣味が好きなふりをし続ける、といった面はあるのだが、そのような承認の規準は価値観より曖昧で容易に変わりやすい。

また、価値への信憑が存在しない分だけ、承認されることへの執着も大きくなる。信じるものを持たない人間は、何をすれば価値があるのか、価値のある人間として認められるのか、まったく見当のつかない状況に陥りやすい。それに、共有された価値を信じるふりは必要ないが、その分、他者の言動に同調しなければ、承認を維持することが難しくなる。その結果、承認への不安は強くなり、底なしの承認欲望から脱け出せなくなってしまうのだ。

いま多くの人々が、社会の承認という呪縛から解き放たれ、社会の抑圧を感じることもなくなっている反面、身近な人々の承認に固執し、せっかく手にしたはずの自由を自ら手放している。自由の足枷と思われた伝統的な価値観は、それが失われるや否や、強い承認不安を引き起こし、自由と引き換えにしてでも承認を得たい、そう望む人々を生み出している。

しかし、すでに私たちが自由の意識を獲得し、自由への欲望を抱く存在である以上、このようなやり方では自己不全感に陥るのは目に見えている。

1. 学校の仲間集団などにおいては、直接的に承認を求め合うことが起こりやすく、メンバー共通の価値観を信じることで、承認欲望を満たそうとする。
2. 特定の価値観を共有しない人間関係においては、承認されることへの執着が大きくなる一方で、承認の規準は曖昧で変わりやすく、承認への不安は強くなる。
3. 現在、多くの人々は、伝統的な価値観やルールの呪縛から解き放たれて自由を手に入れるために、価値観の共有よりも集団内の承認を重視している。
4. 現在の小集団では、メタレベルの価値規準によってルールが容易に変わりやすく、承認を維持することが目的化されやすくなっている。
5. 価値への信憑が存在しない人間関係においては、相手の承認を確実に得られる方法がないため、自由を引き換えにしない限り、自己不全感に陥ってしまう。

【No. 5】 次の文の  に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

物語や小説を読む楽しさは今も昔も変わらない。『更級日記』の作者は「昼は日ぐらし、夜は目のさめたるかぎり、灯を近くともして、これを見る」と述べている。その孝標の女が憧れた『源氏物語』の「蛩」の巻には、物語の内容が嘘か本当かという問いに対して、光源氏は語られる内容はいろいろあるが人間の真実を語ろうとしていると説き明かしている。

作り物語であれ、告白であれ、また歴史小説であれ、作品世界に没入し深い共感を覚えることは変わらない。未知の世界に接していろいろな考え方や生き方のあることを知り、そこからまた新しい自分が呼び起こされてくる。小説を読む感動の意味はそこにある。感動を呼び起こす根源は書き手の志にある。時代の流れを先導したり、時流を拒否したりする志の高さによって、小説は時代の索引となりまた時代への警鐘ともなる。

読み手にとっては時代と自分との関わりを考え、生きる意味を考えるきっかけとなる文学もあれば、時として今という時間を忘れさせてくれたり、現実を超越した神秘と幻想の世界に自分を誘ってくれる文学もある。だから小説は  ものである。それから自分が感じたり感動したことの根拠を自分で反芻し、他の読み手の意見と比較するところから研究の地平が開かれる。

その研究の第一歩はまず文章に注目するところからはじまる。言葉の鋭さは考えの鋭さによるものであり、表現の豊かさは考えの豊かさにつながっている。文章の流れの中で輝いている言葉を取り出し、さらに文脈の底に沈んでいる隠れた光を感じ取ることのできる読み手が作品のよい読者となる。

1. まず楽しむところからはじまり、楽しみながら考えていく
2. 作品世界に安易に共感することなく、深く考察を加えていく
3. その内容が嘘か本当か、世間の常識と照らし合わせていく
4. 他の読み手の意見を踏まえ、重要な部分を効率よく読み進めていく
5. 作者の生い立ちや志を調べ、時代の警鐘となる作品かどうか見極めていく

【No. 6】 次の  と  の文の間の A～E を並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

今でこそ、当たり前になっているが、明治になって日本に輸入された様々な概念の中でも、「個人 individual」というのは、最初、特によくわからないものだった。その理由は、日本が近代化に遅れていたから、というより、この概念の発想自体が、西洋文化に独特のものであったからである。ここでは二つのことだけをpushしておいてもらいたい。

- A：しかし、机は机で、もうそれ以上は分けられず、椅子は椅子で分けられない。つまり、この分けられない最小単位こそが「個体」だというのが、分析好きな西洋人の基本的な考え方である。
- B：だからこそ、元々は「分けられない」という意味しかなかった individual という言葉に、「個人」という意味が生じることとなる。
- C：もう一つは、論理学である。椅子と机があるのを思い浮かべてもらいたい。それらは、それぞれ椅子と机とに分けられる。
- D：動物というカテゴリーが、更に小さく哺乳類に分けられ、ヒトに分けられ、人種に分けられ、男女に分けられ、一人一人にまで分けられる。もうこれ以上は分けようがない、一個の肉体を備えた存在が、「個体」としての人間、つまりは「個人」だ。
- E：一つは、一神教であるキリスト教の信仰である。「誰も、二人の主人に仕えることは出来ない」というのがイエスの教えだった。人間には、幾つもの顔があってはならない。常にただ一つの「本当の自分」で、一なる神を信仰していなければならない。

国家があり、都市があり、何丁目何番地の家族があり、親があり、子があり、もうそれ以上細かくは分けようがないのが、あなたという「個人」である。

1. D→B→E→C→A
2. D→E→C→A→B
3. E→A→C→B→D
4. E→B→C→A→D
5. E→C→D→B→A

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

What then can a man do who is unhappy because he is encased in self? So long as he continues to think about the causes of his unhappiness, he continues to be self-centered and therefore does not get outside the vicious circle; if he is to get outside it, it must be by genuine interests, not by simulated interests adopted merely as a medicine. Although this difficulty is real, there is nevertheless much that he can do if he has rightly diagnosed his trouble.

If, for example, his trouble is due to a sense of sin, conscious or unconscious, he can first persuade his conscious mind that he has no reason to feel sinful, and then proceed to plant this rational conviction in his unconscious mind, concerning himself meanwhile with some more or less neutral activity. If he succeeds in dispelling the sense of sin, it is probable that genuinely objective interests will arise spontaneously.

If his trouble is self-pity, he can deal with it in the same manner after first persuading himself that there is nothing extraordinarily unfortunate in his circumstances.

If fear is his trouble, let him practice exercises designed to give courage. Courage in war has been recognized from time immemorial as an important virtue, and a great part of the training of boys and young men has been devoted to producing a type of character capable of fearlessness in battle. But moral courage and intellectual courage have been much less studied; they also, however, have their technique. Admit to yourself every day at least one painful truth; you will find this quite as useful as the Boy Scout's daily kind action. Teach yourself to feel that life would still be worth living even if you were not, as of course you are, immeasurably superior to all your friends in virtue and in intelligence. Exercises of this sort prolonged through several years will at last enable you to admit facts without flinching, and will, in so doing, free you from the empire of fear over a very large field.

1. 自分の殻に閉じこもっている者も、思い切って外に出てみれば、何かを得ることができる。
2. 自分の殻に閉じこもっている者は、意識的にしろ、無意識のうちにしろ、罪悪感を抱いている。
3. 当たり障りのない活動によっては、合理的な信念を、無意識の中に植え付けることは難しい。
4. 勇気は、太古の昔より、道徳としても知性としても、生きる上での重要な美徳とされてきた。
5. 勇気を養うような訓練をすれば、やがて広範囲にわたる恐怖から逃れることができるようになる。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The family provides our children with their first experience of living and working together in a community. Even within the family, differences abound. What pleases one may upset another. Developing respect for one another and learning to accept, and even appreciate, our differences, takes a lot of time and patience. But in accepting our differences, and learning to work together as a team we can find much of what is truly enjoyable about being in a family.

The amount of patience needed to be a good parent is phenomenal. It is natural for children to constantly challenge their parents. It is a struggle for parents to be patient when they are constantly being challenged, are overwhelmed with other responsibilities, and are frequently in a state of fatigue. There's good reason why it is said that parenting is the most difficult of all jobs!

However, it is also one of the most rewarding. When we are able to keep our “eyes on the prize” — to realize that there is nothing more important in our lives than loving our children and helping them grow up to be happy, secure, kind, and responsible adults, it becomes a little easier to cope. There will still be times when we lose our patience. But we can get it back again. There may even be times when we find ourselves apologizing to our children several times in a single day for being impatient with them. Fortunately, our children are very forgiving. They may not have much patience for tying their shoes or waiting for their turn, but the amount of tolerance they have for a parent whose heart is in the right place, and who is trying to do her best, is impressive.

We want our children to develop the capacity to calmly accept and successfully cope with whatever aggravations they encounter in their lives. By finding — and holding on to — the serenity within ourselves that we need to be patient with our children, we can create a home in which the daily struggles of life may be challenging but are not overwhelming. Such a home, where tolerance for others makes it possible for us to enjoy each other in small but important ways even in the midst of the daily rush, will give our children an example to aspire to, and the strength they will need to draw on for the rest of their lives.

1. 親は子どもに対して、人生で直面する悩みを冷静に受け止めて、うまく対処する力を身につけて欲しいと願うものだ。
2. 子育てに疲れてしまった親は、イライラを子どもにぶつけてしまうことがあるが、一度失ってしまった子どもの信頼は、簡単には取り戻すことはできない。
3. 子育てには忍耐が必要であり、子どもが親の期待した結果を出すことができなかつたとしても、親は子どもに対して厳しく叱るのではなく、励ます方がよい。
4. 絶対にうまくいく子育ての方法は存在しないため、親は不安な気持ちで育てがちであるが、それは子どもを不安な気持ちにさせてしまうことがある。
5. 子育ては人生で最も価値のある仕事の一つであるが、親がそれに気付くことができるのは、子育てが一段落してからになることが多い。

【No. 9】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

The energy sector remains one of the most important sectors for the Turkish economy. Energy generation, energy security, energy efficiency, and climate change mitigation are just some of the many facets influencing the dynamic efforts being carried out by Turkish officials as they work to meet the country's energy demands.

As the sector expands, policy makers in the country are working toward the complementary goals of increasing the energy production — and security — in the country, while simultaneously mitigating the potential impacts of climate change.

Faced with this challenge of providing more energy that is not only affordable and reliable, but clean as well, the country is looking at ways to further engage the private sector in meeting this challenge. In doing so, the country is also deepening its cooperation with international institutions such as the World Bank Group.

Rapid economic growth, industrialization, and steady population growth in Turkey over the last decade are now combining to rapidly transform the country's energy sector. Although this last decade of development has helped to increase electricity generation in the country by 80%, including an increase of 90% in renewable energy generation, an average annual increase in demand of close to 7% since 1990 has meant that further efforts to ensure the availability of clean and reliable electricity continue to be necessary.

In working to address this situation, the government of Turkey is working to achieve the complementary goals of improving energy security, increasing energy efficiency, and further developing renewable resources. As part of this effort, officials in Turkey have implemented a series of measures designed to spur investment and innovation in the energy sector — including an ongoing liberalization program that has ended electricity subsidies, improved the regulatory environment, and paved the way for the privatization of state-owned electricity distribution and generation assets.

Fundamental to these efforts has been an increased role for private companies looking to invest in the energy sector. In recent years, energy companies — with support from banks and investors — have invested billions of dollars in technologies, projects, and programs capable of increasing energy generation and decreasing energy intensity in the country.

1. トルコでは、世界銀行グループを始めとする国際機関による援助の下でエネルギー政策が重点的に進められている。
2. 1990年以前、トルコ政府は専らエネルギー生産量の増加にばかり目を向けており、気候変動への影響に配慮することを怠っていた。
3. 急速な経済成長や工業化、人口の漸増により、トルコのエネルギー消費量はここ10年で3倍以上増加した。
4. 年平均7%近く増加するエネルギー需要に対処するため、トルコ政府はより安定的なエネルギーの確保等の目標の達成に向けて取り組んでいる。
5. トルコではエネルギー関連企業が民間投資なしに独り立ちできるまでに成長したことから、電力事業への補助金が廃止された。

【No. 10】 次の  と  の文の間のア～オを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

Books are composed of words, and words have two functions to perform: they give information or they create an atmosphere.

ア：Atmosphere is created. Who can see those words without a slight sinking feeling at the heart? All the people around look so honest and nice, but they are not, some of them are pickpockets, male or female.

イ：It is an example of pure information. It creates no atmosphere — at least, not in my mind. I stand close to the label and wait and wait for the tram. If the tram comes, the information is correct; if it doesn't come, the information is incorrect; but in either case it remains information, and the notice is an excellent instance of one of the uses of words.

ウ：They hustle old gentlemen, the old gentleman glances down, his watch is gone. They steal up behind an old lady and cut out the back breadth of her beautiful sealskin jacket with sharp and noiseless pairs of scissors. Observe that happy little child running to buy sweets. Why does he suddenly burst into tears. A pickpocket, male or female, has jerked his halfpenny out of his hand.

エ：Often they do both, for the two functions are not incompatible, but our enquiry shall keep them distinct. Let us turn for an example to Public Notices. There is a word that is sometimes hung up at the edge of a tramline: the word 'Stop.' Written on a metal label by the side of the line, it means that a tram should stop here presently.

オ：Compare it with another public notice which is sometimes exhibited in the darker cities of England: 'Beware of pickpockets, male and female.' Here, again, there is information. A pickpocket may come along presently, just like a tram, and we take our measures accordingly. But there is something else besides.

All this, and perhaps much more, occurs to us when we read the notice in question. We suspect our fellows of dishonesty, we observe them suspecting us.

1. ア→イ→エ→オ→ウ
2. ア→ウ→オ→エ→イ
3. エ→イ→オ→ア→ウ
4. エ→オ→イ→ア→ウ
5. オ→ア→ウ→エ→イ

【No. 11】 次の文のア、イに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

It is the task of management to help ensure that effective organizational performance is achieved. Toward that end, managers bring together material resources and personnel, coordinate and direct their utilization, and set policies and procedures to enhance productive activity. Of course, this focus on performance rests on the presumption that superior and inferior performance will be recognized when they occur. Management's ability to move an organization toward optimal productivity will certainly be obstructed if satisfactory and unsatisfactory levels of performance cannot be identified. But for that to take place, an adequate means of measuring performance is necessary. In some instances it may be possible to identify ア and assess organizational productivity or performance comprehensively, or if that is not an option, the productivity of specific organizational sub-units might be scrutinized. More often, however, attention is focused on the productivity or performance of individual employees, and an assumption is made that greater individual productivity will lead to greater organizational performance. Obviously, there is no perfect relationship between イ. A host of factors, including changes in organizational environments and technology, may intervene to mediate that relationship. But employees can make a difference and it is true that one key to improving productivity and quality services in the public sector is accurately measuring and controlling the performance of each worker.

ア	イ
1. inferior individual performance	the effectiveness of individual employees and organizational productivity
2. inferior individual performance	optimal productivity and utilization of material resources and personnel
3. inferior individual performance	satisfactory levels of performance and means of measuring performance
4. organizational goals	the effectiveness of individual employees and organizational productivity
5. organizational goals	satisfactory levels of performance and means of measuring performance

【No. 12】 A～Fの6人が3対3に分かれてバスケットボールの試合を行うため、チーム分けをした。チーム分けの方法は、6人が一斉にグー又はパーを出し、出されたものが同数になるまで繰り返す。同数になったとき、出したものが同じ者どうしが同じチームになるものとし、その結果、4回目でチームが決まった。チーム分けについて、各人が次のように述べているとき、確実にいえるのはどれか。

A：「3回目まで毎回少数派であった。最終的にはDと同じチームになった。」

B：「2回目以降は、その前の回と異なるものを出した。最終的にはEと同じチームになった。」

C：「3回目まで毎回多数派であった。」

D：「3回目まで毎回同じものを出し、4回目はこれまでと異なるものを出した。」

E：「2回目で私と同じものを出した者は私以外に3人いた。」

F：「2回目以降は、その前の回で少数派であったものを出した。」

1. AとEが同じものを出した回はなかった。
2. CとFが同じものを出した回は3回あった。
3. 4回とも同じものを出した者は1人いた。
4. 1回目は、多数派5人と少数派1人に分かれた。
5. 3回目は、多数派5人と少数派1人に分かれた。

【No. 13】 ある地域における世帯の年収と住居の状況について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

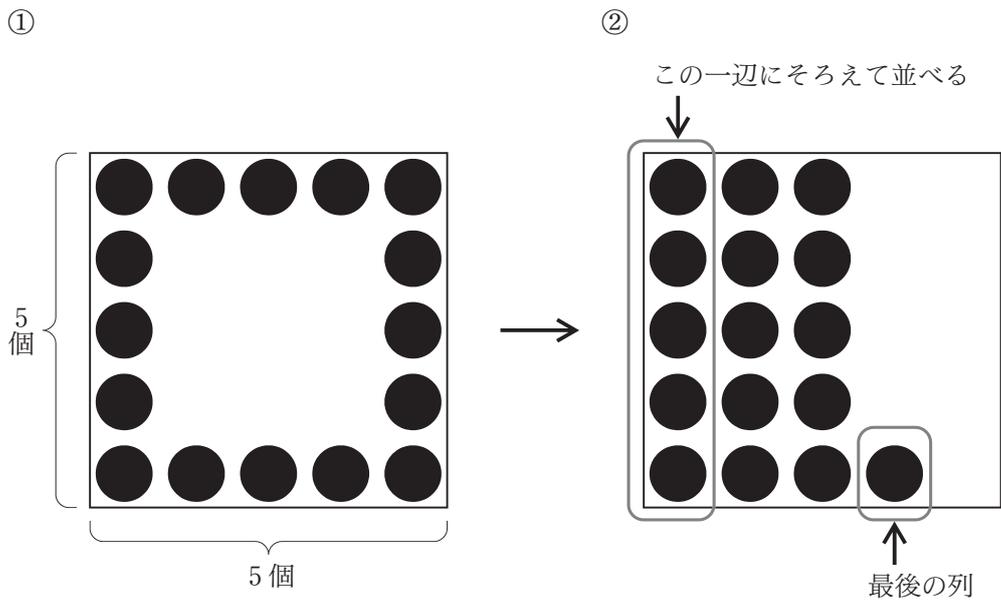
- 年収が 500 万円以上である世帯数は 82 世帯，500 万円未満である世帯数は 56 世帯である。
- 住居の広さが 70 平米以上である世帯数は 70 世帯，70 平米未満である世帯数は 68 世帯である。
- 年収が 500 万円未満で住居の広さが 70 平米未満である世帯のうち，持家である世帯数は，持家でない世帯数より 3 世帯多い。
- 年収 500 万円未満の持家でない世帯で住居の広さが 70 平米以上である世帯数は 12 世帯である。
- 年収が 500 万円未満で持家である世帯数は 25 世帯である。
- 年収 500 万円以上の持家でない世帯のうち，住居の広さが 70 平米未満である世帯数は 17 世帯で，70 平米以上である世帯数より 9 世帯少ない。

1. 持家である世帯数と持家でない世帯数の差は，6 世帯である。
2. 住居の広さが 70 平米以上で年収 500 万円以上の持家でない世帯数は 29 世帯である。
3. 住居の広さが 70 平米以上で年収 500 万円未満の持家である世帯数は 12 世帯である。
4. 住居の広さが 70 平米以上の世帯のうち，年収 500 万円未満で持家である世帯数は，年収 500 万円以上で持家である世帯数のちょうど 10 分の 1 である。
5. 年収 500 万円以上で持家である世帯のうち，住居の広さが 70 平米以上の世帯数は，70 平米未満の世帯数より 19 世帯多い。

【No. 14】 基石を使って、次のような操作を行うことを考える。

- ① 正方形の枠に沿って枠内に基石を並べる。(並べた基石の内側には基石を置かない。)
- ② 並べた基石の四つの辺のうち、左側の一辺を残して基石を取り除き、取り除いた基石を、残した一辺の右側にそろえて並べていく。一辺の数に満たない数の基石が残った場合、残した一辺の右側に下からそろえて並べ、これを最後の列の基石とする。

以上の操作を、例えば一辺に5個の基石を用いて行くと、下図のようになる。



A, B, Cの3人が、それぞれ操作を行った結果、3人が使用した基石の総数は96個となり、最後の列の基石の個数を見ると、Aは5個、Bは3個となった。このとき、Cが並べた正方形の一辺当たりの基石の個数はいくつか。

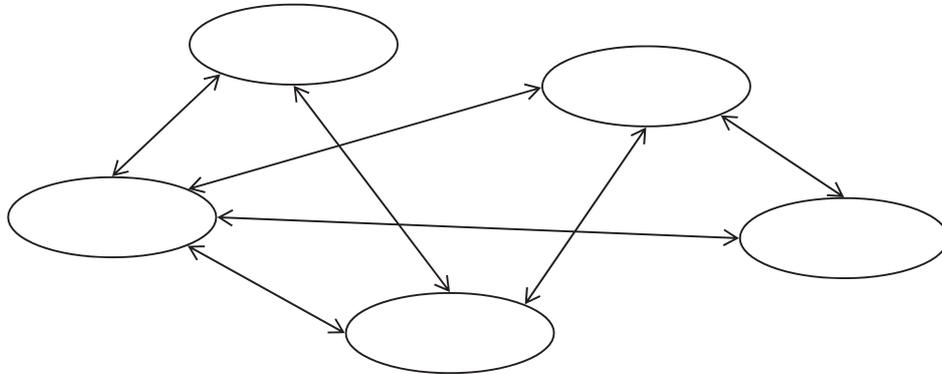
1. 8個
2. 9個
3. 10個
4. 11個
5. 12個

【No. 15】 赤色、青色、黄色の包装紙に包まれたチョコレートがそれぞれ1個、計3個と、同様に各色の包装紙に包まれたクッキーがそれぞれ1個、計3個、合計6個のお菓子が袋の中に入っている。この袋からお菓子を二つ取り出し、そのうち好きな一つを手元に残して、もう一つを袋に戻すことを、A～Eの5名がこの順序で行った。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- Aが取り出したお菓子は二つともチョコレートであり、袋に戻したお菓子の包装紙は赤色であった。
- Bが手元に残したお菓子の包装紙はAが手元に残したお菓子の包装紙と同じ色であり、Bが袋に戻したお菓子の包装紙は赤色であった。
- Cが袋に戻したお菓子の包装紙は青色であった。
- Dが取り出したお菓子の包装紙は二つとも赤色であった。
- Eが取り出したお菓子は二つともクッキーであった。

1. Aが手元に残したお菓子の包装紙は青色であった。
2. Bが袋に戻したお菓子はチョコレートであった。
3. Cが手元に残したお菓子の包装紙の色とDが手元に残したお菓子の包装紙の色は異なっていた。
4. Dがお菓子を二つ取り出した後、袋の中に残ったお菓子はチョコレートであった。
5. Eが袋に戻したお菓子の包装紙とCが手元に残したお菓子の包装紙は同じ色であった。

【No. 16】 ある国にはA島～E島の五つの島があり、これらの島は空路で結ばれている。各島の位置と空路の概略は図のとおりで、各島間の交通事情について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。なお、各島間の交通手段は航空機のみである。



- A島とB島は直行便で結ばれている。
- A島からD島への直行便はない。
- B島からD島への直行便はない。
- B島からE島への直行便はない。

1. A島からは、二つの島にのみ直行便で行くことができる。
2. B島からC島への直行便はない。
3. C島からE島への直行便はない。
4. D島からE島への直行便はない。
5. E島からは、三つの島にのみ直行便で行くことができる。

【No. 17】 A～Iの9人が総当たりでバドミントン(シングルス)のリーグ戦を行った。このリーグ戦は9日間で行われ、各日も試合がない者が1人いた。

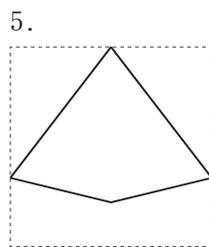
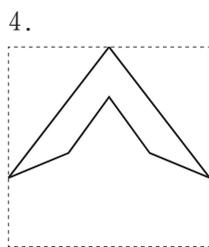
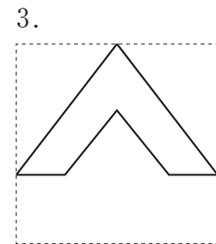
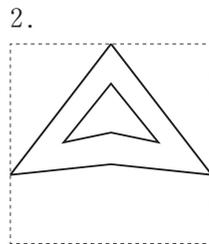
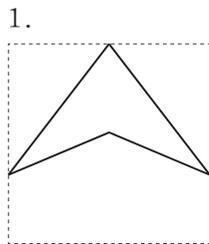
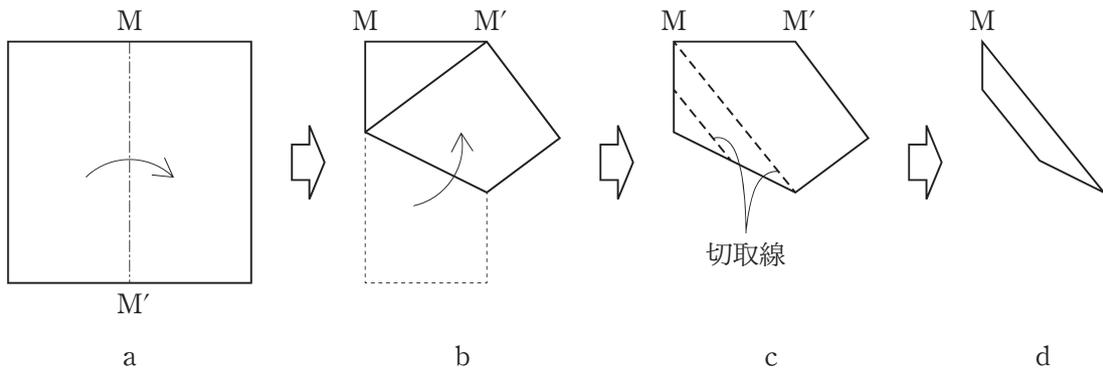
表は、前回のリーグ戦の順位と、今回のリーグ戦の7日目までの各参加者の勝敗及び8日目と9日目の対戦相手を示したものである。今回のリーグ戦では勝ち数が多い順に順位を付け、勝ち数が同じ者の順位については、前回のリーグ戦の順位が高い者を上位とすることにしたところ、最終順位はAが1位、Bが2位、Cが5位、Dが最下位という結果となった。今回のリーグ戦の勝敗や順位について確実にいえるのはどれか。

ただし、引き分けの試合はなかった。

前回のリーグ戦の順位	参加者	今回のリーグ戦の状況		
		7日目までの勝敗	8日目の対戦相手	9日目の対戦相手
1位	A	4勝2敗	D	G
2位	B	4勝2敗	E	H
3位	C	2勝4敗	I	E
4位	D	2勝4敗	A	F
5位	E	3勝3敗	B	C
6位	F	2勝4敗	G	D
7位	G	1勝5敗	F	A
8位	H	5勝2敗	試合なし	B
9位	I	5勝2敗	C	試合なし

1. Aは6勝2敗であった。
2. BはHに敗れた。
3. Eは4勝4敗であった。
4. Gは8日目と9日目のどちらかに敗れた。
5. Iは3位であった。

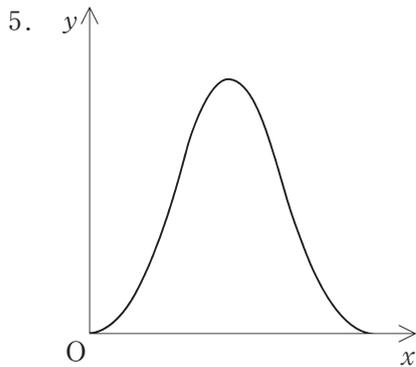
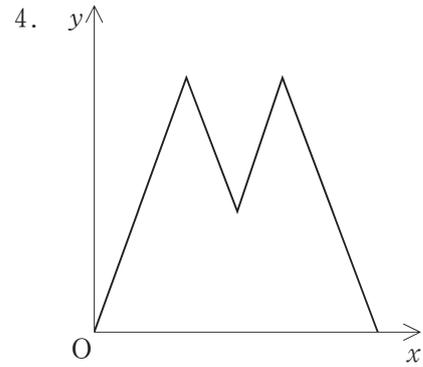
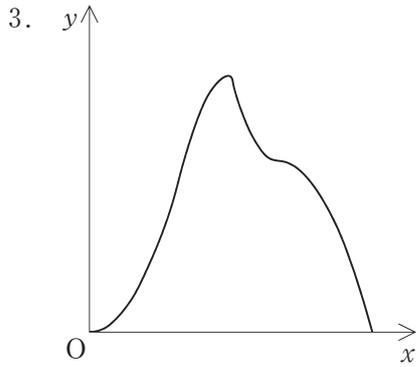
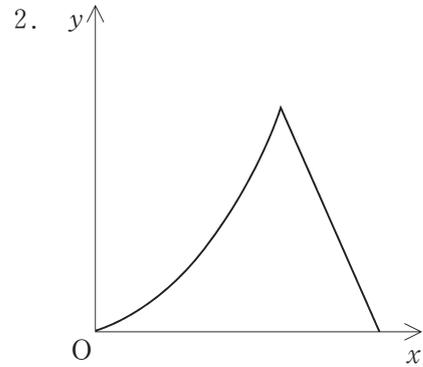
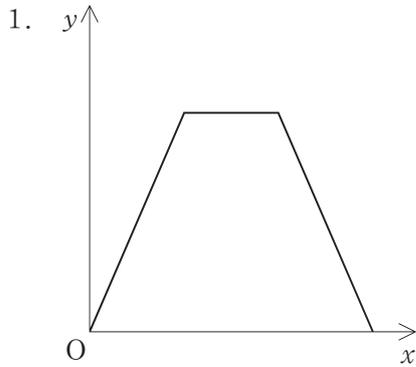
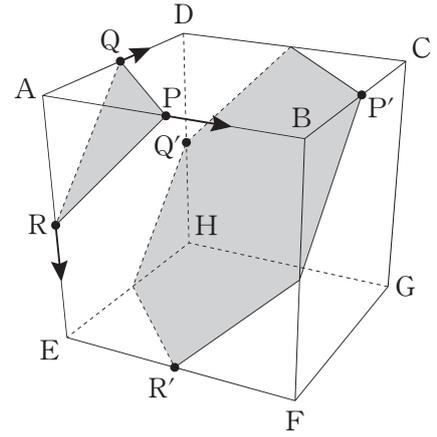
【No. 18】 図のように、正方形の紙を次の a, b のように折った後, c のように破線部分で切り取り, 残った図形 d を展開したものととして最も妥当なのはどれか。



【No. 19】 図のように、一辺の長さが1の立方体 ABCD-EFGH とその辺の上を動く点 P, Q, R を考える。

今、3点 P, Q, R は時刻 0 において頂点 A を同時に出発し、いずれも毎秒 1 の速さで、P は  $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow G$ , Q は  $A \rightarrow D \rightarrow H \rightarrow G$ , R は  $A \rightarrow E \rightarrow F \rightarrow G$  の経路で移動して、3 秒後に頂点 G で停止するとする。(P', Q', R' は、それぞれ P, Q, R が頂点 A を出発してから 1.5 秒後における位置を示している。)

時刻  $x$  において、3点 P, Q, R を通る平面でこの立方体を切断したときの断面積を  $S(x)$  とおくと、 $y = S(x)$  のグラフを表しているものとして最も妥当なのはどれか。



【No. 20】 A～Dの4人がある作業をA, B, C, D, A, B…の順に10分交代で1人ずつ行ったところ、2巡目の最後にDが4分作業を行ったところで作業が全て終了した。

同じ作業を、B, C, D, A, B, C…の順に10分交代で1人ずつ行ったところ、Aから作業を始めたときに比べ、5分短い時間で作業が全て終了した。

同様に、C, D, A, B, C, D…の順に10分交代で1人ずつ行ったところ、Aから作業を始めたときに比べ、3分長い時間で作業が全て終了した。

この作業をCだけで行ったところ、Aから作業を始めたときに比べ、10分長い時間で作業が全て終了した。

このとき、AとDが同時にこの作業を行うと、作業が全て終了するのに要する時間はいくらか。

なお、4人の時間当たり作業量はそれぞれ常に一定である。

1. 44分
2. 48分
3. 52分
4. 56分
5. 60分

【No. 21】 図 I は一辺の長さが 1 cm の立方体 48 個を隙間なく積み重ねた立体を示したものである。図 II に示すとおり、各立方体には番号が付いており、図 I の状態から立方体を 1 番から順に一つずつ取り除き、残った立体の表面積について考える。

15 番までの立方体を取り除いたときに残った立体の表面積と、 $n$  番(ただし、 $n \neq 15$ )までの立方体を取り除いたときに残った立体の表面積が等しくなるときの  $n$  について、確実にいえるのはどれか。

図 I

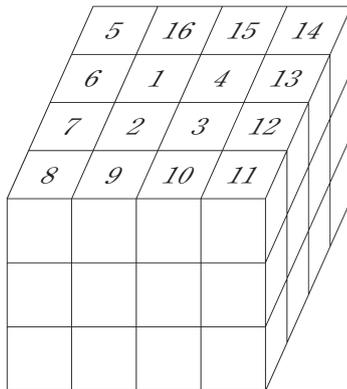
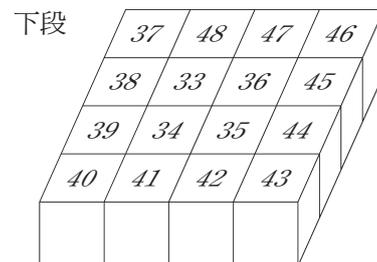
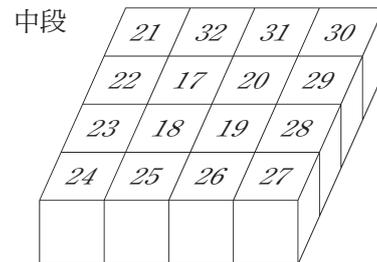
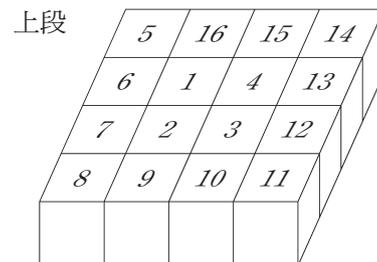


図 II



1.  $n$  は 17 のみである。
2.  $n$  は 23 のみである。
3.  $n$  は 31 のみである。
4.  $n$  に当てはまる全ての数値の和は 40 である。
5.  $n$  に当てはまる全ての数値の和は 78 である。

【No. 22】 ある店が、定価 800 円の弁当を 60 個販売しようとしたところ、売れ残りが出そうだったので途中から定価の 100 円引きで売ったが、それでも売れ残ったため最終的に定価の 300 円引きで売ったところ完売した。売上額を計算したところ、60 個全てを定価で売った場合よりも売上額が 5,500 円少なく、また、値引きして売った弁当の総数は 30 個よりも少なかった。このとき、それぞれの価格で売れた弁当の数の組合せが何通りか考えられるが、そのうち定価で売れた弁当の数が最も多い組合せにおいて、定価の 300 円引きで売れた弁当の数はいくつか。

ただし、それぞれの価格で売れた弁当の数は 1 個以上あるものとする。

1. 12 個
2. 14 個
3. 16 個
4. 18 個
5. 20 個

【No. 23】 整数  $2^a \times 3^b \times 4^c$  の正の約数の個数の最大値はいくらか。ただし、 $a$ 、 $b$ 、 $c$  は正の整数であり、 $a + b + c = 5$  を満たすものとする。

1. 14
2. 16
3. 18
4. 21
5. 24

【No. 24】 確率等に関する記述A, B, Cのうち, 正しいもののみを全て挙げているのはどれか。

A: 小学校Xでは, 1~6年の各学年にクラスが二つずつ設置されている。いずれのクラスも児童数が32人であり, また, どのクラスも, 同じクラス内には, 誕生日が同月同日の児童はいないことが分かっている。しかしながら, この小学校全体で見れば, 誕生日が同月同日の児童のペアが一組以上いる。

B: 小学校Yのあるクラスの児童30人の毎月の小遣いの金額について調べたところ, いずれの児童も100円単位で小遣いをもらっており, 30人の小遣いの平均金額は530円であった。この場合において, この30人の中に小遣いの金額が1,500円の児童がいるとき, 小遣いの金額が400円以下の児童も必ずいる。

C: 小学校Zのあるクラスではバスで遠足に行くことになった。バスの座席は事前に決まっていたが, 最初にバスに乗った児童が自分の座席を忘れて, 任意の座席に座ってしまった。他の児童は, 一人ずつバスに乗り込み, 自分の座席が空いていればその座席に, そうでなければ空いている任意の座席に座った。このとき, 最後の児童が自分の座席に座れる確率は, そのクラスの児童数が多くなるにつれて小さくなる。

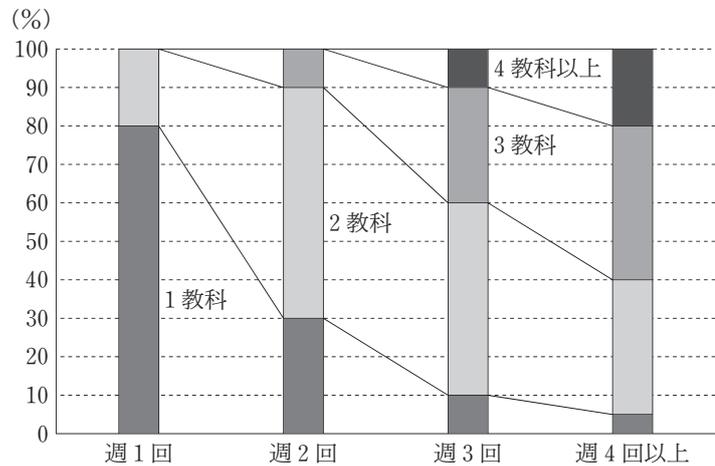
ただし, 児童数とバスの座席数は同数とする。

1. A
2. A, B
3. B
4. B, C
5. C

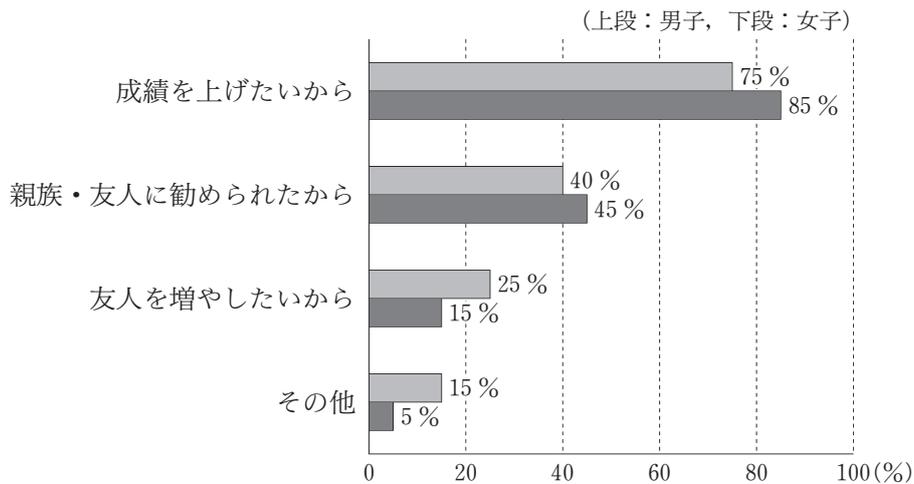
【No. 25】 表は、ある学校の生徒を対象に実施した、学習塾への通塾に関するアンケートの結果を示したものである。また、図Ⅰ及び図Ⅱは、表のアンケートで学習塾に通っていると回答した生徒を対象に実施したアンケートの結果を示したものである。これらからいえることとして最も妥当なのはどれか。

	全体		
		うち男子	うち女子
通っている	30%	40%	60%
週1回	20%	40%	60%
週2回	30%	50%	50%
週3回	40%	30%	70%
週4回以上	10%	50%	50%
通っていない	70%	55%	45%

表 学習塾への通塾状況



図Ⅰ 学習塾で指導を受けている教科数



図Ⅱ 学習塾に通い始めた理由(二つまで選択。無回答はなし。)

1. 学習塾に通い始めた理由として、二つ選択した生徒は、女子よりも男子の方が人数が多い。
2. 学習塾に週2回通って、かつ、2教科の指導を受けている生徒よりも、週1回通って、かつ、1教科の指導を受けている生徒の方が人数が多い。
3. 学習塾に通っている生徒のうち、週1回通っており、かつ、「親族・友人に勧められたから」を選択した男子が占める割合は6%である。
4. 学習塾に通っている生徒のうち、4教科以上の指導を受けている生徒が占める割合は9%である。
5. 学習塾に通っている生徒のうち、「成績を上げたいから」を選択した生徒が占める割合は80%を超える。

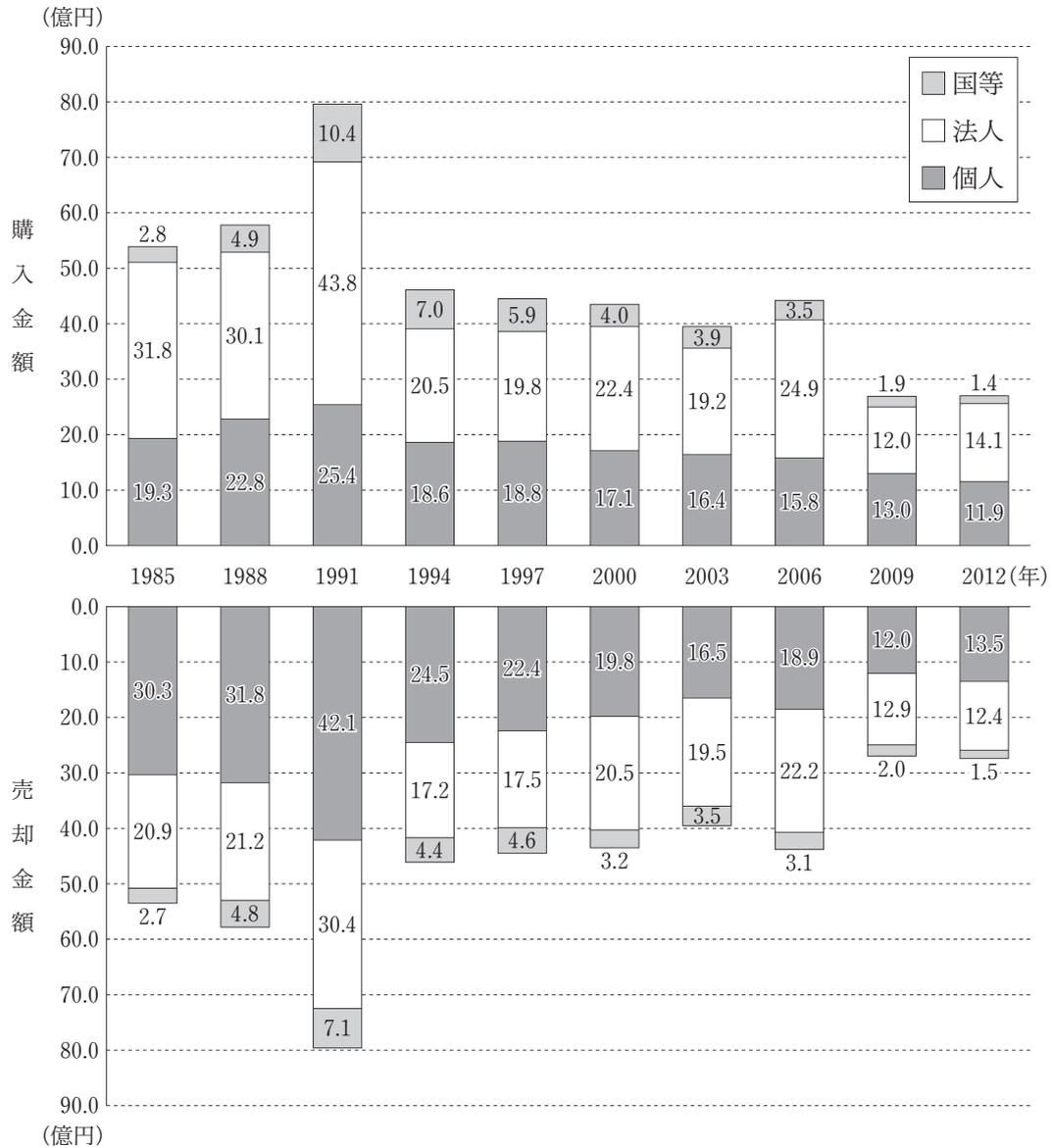
【No. 26】 表は、ある国をA地域とB地域に分け、それぞれの総人口及び特定の年齢層が総人口に占める割合の推移を示したものである。これからいえることとして最も妥当なのはどれか。

年	A地域			B地域		
	総人口 (千人)	年齢層		総人口 (千人)	年齢層	
		15歳未満(%)	65歳以上(%)		15歳未満(%)	65歳以上(%)
1960	811	27.3	7.9	1,721	37.6	3.9
1965	913	28.1	8.6	2,125	41.0	3.6
1970	1,006	26.0	9.9	2,690	41.7	3.6
1975	1,081	22.5	11.7	3,372	39.4	4.1
1980	1,144	20.6	12.5	4,162	36.1	4.5
1985	1,189	18.3	14.3	4,934	33.1	5.1
1990	1,236	16.5	15.9	5,660	29.0	5.8
1995	1,273	16.8	19.0	6,383	26.5	7.5
2000	1,296	16.3	22.4	7,025	24.1	9.8
2005	1,307	16.1	24.5	7,567	22.3	12.5
2010	1,312	16.6	25.7	7,994	21.1	14.7

- 1960年～2010年の間で、A地域の65歳以上の人口の割合が一貫して上昇しているのは、B地域から65歳以上の人口が流入していることによるものである。
- 1960年～2010年の間で、B地域の総人口の増加率は、A地域のその5倍に満たない。
- この国全体において、1960年～2010年の間で、65歳以上の人口は10倍以上増加した。
- この国全体において、1980年の15歳未満の人口及び65歳以上の人口の合計の割合は45%を超えている。
- B地域において、1970年の15歳未満の人口及び65歳以上の人口の合計は、1995年のそれより多い。

【No. 27】 図は、ある地域における土地の購入金額及び売却金額の推移を主体(国等・法人・個人)別に示したものである。これからいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、調査年は、調査の対象となった年をいう。



1. いずれの調査年においても、購入金額の総額のうち、法人の購入金額が占める割合は5割を超えている。
2. 2000年の法人の売却金額を100とした場合、他の調査年における法人の売却金額は全て150を下回っている。
3. 購入金額及び売却金額において、主体別の前回の調査年からの増加率を見ると、最も高いのは1991年の法人の購入金額の増加率である。
4. それぞれの調査年における個人1人当たりの購入金額及び売却金額を見ると、2009年以外は売却金額が購入金額を上回っている。
5. いずれの調査年においても、個人については売却金額が購入金額を上回っているが、法人については購入金額が売却金額を上回っている。

【No. 28】 平成 25 年から改正された我が国の選挙制度に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 従前選挙期間中にインターネットを利用した選挙運動を行うことは禁じられていたが、候補者及び政党等によるウェブサイトの更新や SNS での投稿による選挙運動については、投票日当日も含めて認められるようになった。ただし、一般有権者については引き続き禁じられている。
2. 仕事や留学などで海外に居住している者は、在外選挙制度により在外選挙人名簿に登録をすることで投票ができる。従前投票が可能なのは比例代表選挙のみであったが、平成 25 年 7 月以降に公示される選挙から、選挙区選挙についても投票をすることができることとなった。
3. 「一票の格差」を是正するために衆議院議員小選挙区の区割りに関し、5 都県で定数が 1 増加、5 県で定数が 1 減少する、いわゆる 5 増 5 減の改定が行われた。これにより各選挙区間における最大人口較差は 2 倍を下回ったが、都道府県間の議員 1 人当たりの人口較差は最大で 2 倍を超えている。
4. 従前の不在者投票制度は、仕事や旅行、入院等によって投票日当日に投票することが難しい者に限って認められてきたが、投票率の向上のため、特段の理由がなくとも事前に投票することが可能となる期日前投票制度に変更され、郵便等による投票も認められるようになった。
5. 従前公職選挙法では、成年被後見人は選挙権及び被選挙権を有しないこととされていたが、平成 25 年 7 月以降に公示又は告示される選挙から、成年被後見人も選挙権及び被選挙権を有することとなった。

【No. 29】 近年の我が国のインフラ整備の状況に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 平成 24 年の中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故を機に、道路、トンネルなどのインフラ設備の老朽化への対応が求められ、平成 25 年度に設立された一般財団法人道路保全技術センターの総合調整の下に消費税の引上げ分を財源とした緊急の大規模改修工事が進められることとなった。
2. 大規模地震発生の切迫性が指摘される中、公共建築物の耐震診断及び耐震改修の促進が急務とされ、学校、病院等多数の者が利用する一定規模以上の建築物の耐震化率については、平成 27 年までに少なくとも 9 割とする目標が国土交通大臣により設定されている。
3. 東京電力福島第一原子力発電所事故の発生を機に、エネルギー政策基本法が改正され、同法に基づき、今後 5 年以内に太陽光、風力等の再生可能エネルギーを基幹エネルギーとして総発電量の 3 割程度を占めることとする「エネルギー基本計画」が平成 25 年に新たに策定された。
4. 地上アナログ放送から地上デジタル放送への切替えに伴い、地上デジタル放送に対応可能な電波塔の建設が各地で求められることとなった。首都圏では東京スカイツリーの建設が進められ、平成 25 年の完成と同時に、首都圏で地上デジタル放送の送信が開始された。
5. 2020 年のオリンピック・パラリンピックの開催に向け、競技会場として、首都圏全域で新国立競技場を始めとする多くのスポーツ施設の新設が予定されており、また、外国人観光客の増加に対応するため、平成 25 年に首都圏内陸部における新たな国際空港の建設予定地が決定された。

【No. 30】 我が国の安全保障に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

A：厳しさを増す我が国周辺の安全保障環境を踏まえ、平成25年度の防衛関係費(当初予算)は、南西地域の警戒監視・防空能力の向上や島嶼<sup>しよ</sup>防衛態勢の強化などに係る経費が計上され、対前年度(当初予算)比で増額となった。

B：内閣を挙げて外交・安全保障体制の強化に取り組むため、平成25年、内閣の安全保障会議の権限が強化された。これに伴い、外務大臣、防衛大臣、国土交通大臣及び経済産業大臣からなる4大臣会合が新設されたほか、内閣官房に国家安全保障局が設置されることとなった。

C：ロシアとの間で外務・防衛閣僚協議(「2+2」)が平成25年に初めて開催された。協議では、テロ・海賊対処や防衛交流などについて日露間で協力を進めることで一致した。我が国が外務・防衛閣僚協議(「2+2」)の枠組みを設けたのは、米国、オーストラリアに続いてロシアが3か国目となった。

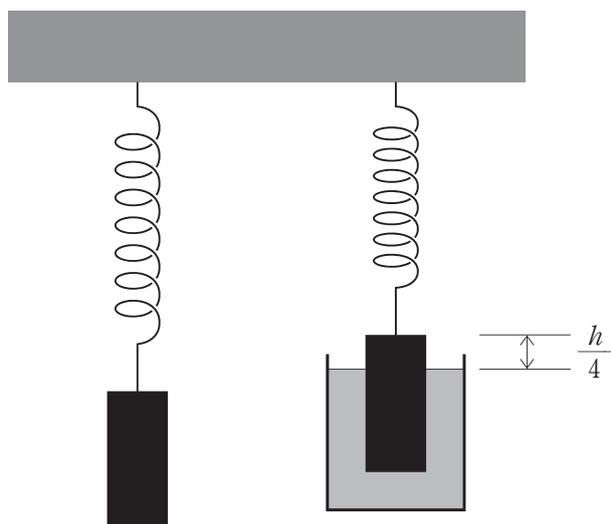
D：平成25年に起きたシリアでの日本人人質事件を受け、同年、自衛隊法が改正され、自衛隊による輸送対象者の範囲が邦人のみに限定されることとなった。また、車両に限定されていた自衛隊による在外邦人の輸送手段に、船舶及び航空機が追加された。

1. A, C
2. A, D
3. B
4. B, D
5. C

【No. 31】 図のように、密度  $\rho$  [kg/m<sup>3</sup>], 底面積  $S$  [m<sup>2</sup>], 高さ  $h$  [m] の円柱が取り付けられた同じ軽いばねが二つ天井に取り付けられている。一方を液体に  $\frac{3}{4}h$  [m] だけ浸したところ、どちらのばねも静止し、液体に浸した方のばねの伸びは、もう一方のばねの伸びの  $\frac{1}{2}$  倍であった。このとき、この液体の密度として最も妥当なのはどれか。

ただし、重力加速度の大きさは一定である。

1.  $\frac{3}{8}\rho$  [kg/m<sup>3</sup>]
2.  $\frac{2}{3}\rho$  [kg/m<sup>3</sup>]
3.  $\frac{3}{4}\rho$  [kg/m<sup>3</sup>]
4.  $\frac{4}{3}\rho$  [kg/m<sup>3</sup>]
5.  $\frac{3}{2}\rho$  [kg/m<sup>3</sup>]



【No. 32】 有機化合物に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 炭素を含む化合物を有機化合物という。これには、二酸化炭素，炭酸カルシウムなどの低分子の化合物や陶器に利用されるセラミックスなどの高分子の化合物が含まれる。
2. エタノールは，水と任意の割合で混じり合う無色の液体で，化学式は  $C_2H_5OH$  である。ブドウ糖(グルコース)などのアルコール発酵によって生じる。
3. 酢酸は，常温で無色の液体で，化学式は  $C_6H_6$  である。食酢の主成分であり，純粋な酢酸は無水酢酸と呼ばれ，強酸性である。
4. 尿素は，化学式は  $CH_3CHO$  で，生物体内にも含まれる有機化合物である。水や有機溶媒によく溶け，肥料や爆薬(ダイナマイト)の原料としても利用される。
5. メタンは，褐色で甘いにおいをもつ気体で，化学式は  $CH_4$  である。塩化ビニルの原料となるほか，リンゴなどの果実の成熟促進剤にも用いられている。

【No. 33】 酵素やエネルギーに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 酵素のうち、ペプシンは、タンパク質を分解する消化酵素である。また、ペプシンは胃液に含まれており、強い酸性条件下でよく働く。
2. 酵素のうち、カタラーゼは、過酸化水素を分解して水素を発生させる。これはカタラーゼが触媒として働いたためであり、一度触媒として働いたカタラーゼは消費されてしまうため、再度触媒として働くことはない。
3. 酵素のうち、アミラーゼは、デンプン、タンパク質、セルロースなどの物質に酵素反応を示し、物質の分解を促進する。また、アミラーゼは温度が上昇するほど、反応速度が高まる。
4. 呼吸とは、グルコース、酸素及び水から、水とエネルギーを合成する反応である。真核生物では、呼吸は細胞内のミトコンドリアで行われ、その構造は一重の膜に包まれ、細胞液で満たされている。
5. 光合成とは、二酸化炭素と光エネルギーから、酸素と水を合成する反応である。陸上植物では、光合成は細胞内の葉緑体で行われ、葉緑体はそれぞれの細胞に一つずつ含まれている。

【No. 34】 我が国における一揆や反乱等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 平安時代中期，関東で勢力を伸ばしていた平将門が朝廷に対して挙兵し，関東の大半を征服し，自ら新皇と称した。一時は京都付近まで攻め上ったが，朝廷は，伊予を本拠地とし瀬戸内海の海賊を支配下においていた藤原純友の協力を得て平将門を討伐した。
2. 室町時代，貨幣経済の進展によって金融業を営む土倉などが増加した。これらに対し，幕府や荘園領主は収入を増やす目的で重税を課した。応仁の乱の後に京都で発生した正長の土一揆は，こうした課税に反対した土倉が起こしたものである。
3. 江戸時代初期，凶作と飢饉をきっかけにキリスト教の信徒を中心とする島原・天草一揆(島原の乱)が起きた。幕府は，両地方の領主であったキリシタン大名の支援を受けた信徒たちと戦い，和睦したが，この後，幕府はキリスト教を禁止し，取締りを強化した。
4. 明治維新後，秩禄処分や廃刀令などによって，士族は特権を失い，政府の政策に対する不満が高まっていた。征韓論争に敗れて参議を辞職した西郷隆盛が鹿児島で兵を挙げると，九州各地の士族が加わり，戦闘は半年以上に及んだ。
5. 昭和初期，浜口雄幸首相は協調外交路線を採り，ロンドン海軍軍縮会議に参加し海軍の補助艦艇の制限に関する条約に調印した。二・二六事件は，天皇の統帥権を侵すものとしてこの条約に反対する青年将校らが，首相官邸を襲い，浜口首相を射殺したものである。

【No. 35】 近代のフランスに関する記述A, B, Cのうち正しいものと、それに関連する絵画の組合せとして最も妥当なのはどれか。

A：18世紀末，ヴェルサイユで三部会が開かれたが，議決方法をめぐって特権を持つ第一・第二身分と第三身分が対立した。第三身分の議員は，自分たちが真に国民を代表する国民議会であると宣言し，憲法制定までは解散しないことを誓った。これを，「球戯場の誓い」という。

B：19世紀初め，皇帝となったナポレオンがイギリスやオーストリアなどの諸外国を破り，フランスの勢力は絶頂に達した。そのため，被征服地は封建的圧政の下に置かれることになったが，その一方で外国支配に反対する民族意識が成長し，各地で反ナポレオンの運動が起こった。

C：19世紀前半，パリに革命が起こり，圧政を敷いたシャルル10世は追放され，自由主義者として知られるルイ=フィリップが王に迎えられて，七月王政が成立した。この七月革命の影響を受けて，ベルギーは独立し，ポーランド・ドイツ・イタリアでは反乱が起こった。

ア.



イ.



ウ.



エ.



- |    | 記述 | 絵画 |
|----|----|----|
| 1. | A  | イ  |
| 2. | A  | エ  |
| 3. | B  | ア  |
| 4. | C  | ア  |
| 5. | C  | ウ  |

【No. 36】 世界の工業に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：繊維工業のうち、綿花を原料とする綿工業は、生産コストの中で原料費の比重が大きく、原料の輸送費の節約のため、輸入港や高速道路、空港付近に工場を立地する交通指向型の工業に分類される。第二次世界大戦以前は英国や我が国が主な生産国であったが、近年では安価な労働力が得られる中国とブラジルが二大生産国となっている。

B：鉄鋼業では、18世紀に木炭ではなく石炭を燃料とする製鉄法が確立して以降、英国のミッドランド地方やドイツのルール地方のような炭田地域に製鉄所が建設された。第二次世界大戦以降は、技術革新や輸送費の低下などによって、炭田に立地する必要性が低下し、フランスのダンケルクのような臨海部に製鉄所が建設された。

C：自動車工業は総合的な組立工業で、大資本や多くの労働力を必要とする。国際化の進展が著しい工業部門の一つであり、欧米や日本の自動車会社は1970年代から外国での生産拠点作りに取り組み、主要な企業の多くが、世界の各地に工場を展開させている。近年は国際的な競争が一層激しくなり、2013年には米国の自動車工業都市であるデトロイトが財政破綻に陥った。

D：集積回路やパソコンの生産に代表されるエレクトロニクス工業は、高度な加工技術が必要であること等から、米国のシリコンバレーのように先進国の一地域に集中している。そのため、現在も米国等の先進国によって世界シェアが占められており、例えば2010年における集積回路の輸出額を見ると、米国だけで世界の輸出額の50%を超えている。

1. A, B
2. A, D
3. B, C
4. B, D
5. C, D

【No. 37】 中世における日本文化と思想に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 臨済宗の開祖である栄西は、宋から抹茶法を伝え、茶道を大成した。著作である『喫茶養生記』において、今日という会は二度とない一生に一度の会であり、決しておろそかにせず心をこめて行うという心得「一期に一度の会」を説き、「一期一会」の語源となった。
2. 時宗を開いた一遍は、後に盆踊りなど各地の民俗芸能の群舞の源流となる踊念仏を始め、各地を遊行した。雑念を捨てて「南無妙法蓮華経」と唱えながら踊ることで、悟りを開いて極楽浄土に往生することができると説き、「阿弥陀聖」と呼ばれた。
3. 吉田兼好(卜部兼好)は、著作『徒然草』において、無常観に立って、この世の地位や名誉に執着することの愚かさ、移ろいゆく自然のはかない美しさをめでる心などを記した。
4. 世阿弥は、能を完成させ、最初の能楽の理論書である『風姿花伝』を著した。優れた役者を「花」と呼び、「花」となるには、他者の心情への共感である「もののあはれ」の心を知ることが重要であると主張し、それを「秘すれば花なり、秘せずは花なるべからず」と表現した。
5. 明に渡って技法を学び、日本の水墨画を大成した雪舟は、墨の濃淡や線の強弱だけで艶やかさを表現し、人間を個性豊かに描いた美人画と呼ばれる多くの作品を残した。

【No. 38】 国際法に関する記述として最も妥当なのはどれか。なお、条約名は略称とする。

1. 国際法を最初に体系的に論じたのは国際法の父といわれるカントである。彼は、『戦争と平和の法』において、平時には自然法の立場から国際社会にも諸国家が従うべき法があるが、戦時には国際法の適用が停止されざるを得なくなるとして、法によらず戦争に訴える国家を厳しく批判した。
2. 領土・領海に限られていた国家の主権は、航空機の発達によって領空にまで及んだが、人類の活動領域が宇宙空間にも及ぶに至り、1966年に採択された宇宙条約では、月その他の天体を含む宇宙空間は、全ての国が国際法に従って自由に探査・利用できるとされた。
3. 海洋については、1982年に採択された国連海洋法条約により、公海、排他的経済水域、領海の三つに分けられることになった。このうち、領海とは、基線から3海里以内で沿岸国が設定し得る水域であり、領海内では沿岸国の同意を得ない外国船舶の航行は禁止される。
4. 大陸棚については、1958年に採択された大陸棚条約において、大陸棚の資源は人類の共同の財産であり、そのいかなる部分についても主権を主張したり、主権的権利を行使したりしてはならないとされ、国際機関が大陸棚の資源開発を管理することとなった。
5. 国際紛争を裁判で解決するための機関として18世紀に創設された仲裁裁判所では、当事国が合意した場合に限り裁判が行われるとされ、紛争解決事例は少なかったが、国際連合に設置された国際司法裁判所は、強制的管轄権を付与され、当事国の合意がなくとも裁判を行うことが可能になった。

【No. 39】 国民所得や景気変動に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. GNP(国民総生産)は、GDP(国内総生産)より海外からの純所得(海外から送金される所得－海外へ送金される所得)を控除することで得られる。GNPとGDPを比較すると、GNPはGDPより必ず小さくなる。
2. 名目GDPの増加率である名目成長率から、物価上昇率を差し引くと、実質GDPの増加率である実質成長率が求められる。また、我が国の場合、第二次世界大戦後から2013年までに、消費者物価上昇率(前年比)が7.5%を上回ったことはない。
3. NI(国民所得)は、生産、支出、分配の三つの流れから捉えることが可能である。また、生産国民所得から支出国民所得を差し引いた大きさと分配国民所得の大きさが等しいという関係が成り立つ。
4. 景気が好況時に継続的に物価が上昇することをスタグフレーションという。我が国の場合、デフレーションと不況が悪循環となるデフレスパイラルの現象が見られたことはあるが、スタグフレーションの現象が第二次世界大戦後から2013年までに見られたことはない。
5. 景気の波のうち、在庫調整に伴って生じる周期3年から4年ほどの短期の波を、キチンの波という。一方、大きな技術革新などによって生じる周期50年前後の長期の波を、コンドラチェフの波という。

【No. 40】 国際機関に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 世界保健機関(WHO)は、世界の全ての人が最高の健康水準を維持できるよう、各国の感染症の撲滅のほか、近年では健康に害を及ぼす化学兵器の廃棄を目指し、その生産施設や毒性化学物質を扱う産業施設等に対して査察等を行っており、その活動によりノーベル平和賞を受賞した。
2. 国連教育科学文化機関(UNESCO)は、教育・科学・文化を通じて国際協力を促進することを目的とした機関であり、活動の一つに世界遺産の登録・保護がある。近年、選定の基準に、文化遺産、自然遺産に続き「負の世界遺産」が新たに設けられ、チェルノブイリ原子力発電所が登録された。
3. 国際原子力機関(IAEA)は、原子力の平和的利用を促進するとともに、軍事的利用に転用されることの防止を目的とした機関である。平成 25 年現在の事務局長は日本人が務めており、また、我が国の東京電力福島第一原子力発電所事故においては、調査団の派遣を行った。
4. 国連児童基金(UNICEF)は、子どもの権利条約によって設立された国連の専門機関の一つであり、開発途上国の児童に限定した援助活動を行い、食料の生産、分配の改善などを通じて、児童の飢餓の根絶に重点を置いて活動をしている。
5. 国連貿易開発会議(UNCTAD)は、世界貿易の秩序形成を目的とした機関であり、モノの貿易だけでなく、サービス貿易や知的財産権問題などを扱うほか、開発途上国のための長期資金の供与を業務として行っている。

平成26年度 一般職大卒程度試験  
基礎能力試験 正答番号表

問題	正答	問題	正答
1	2	21	4
2	1	22	4
3	3	23	3
4	2	24	2
5	1	25	5
6	4	26	3
7	5	27	2
8	1	28	5
9	4	29	2
10	3	30	1
11	4	31	2
12	1	32	2
13	5	33	1
14	4	34	4
15	3	35	4
16	5	36	3
17	3	37	3
18	2	38	2
19	5	39	5
20	4	40	3